

平成30年度
北海道介護福祉学校
自己評価結果報告書



栗山町立

北海道介護福祉学校

目 次

1	学校の概要	1
2	栗山町教育のめざすところ	2
1)	栗山町教育推進の合言葉	2
2)	栗山町の教育目標	2
3	北海道介護福祉学校の教育目標	3
4	北海道介護福祉学校の育てたい人材像	3
5	評価項目の達成及び取組状況	
1)	教育理念・目的・人材育成像	4
2)	学校運営	5
3)	教育活動	6
4)	学修成果	7
5)	学生支援	8
6)	教育環境	9
7)	学生の受入募集	9
8)	財務	10
9)	法令等の遵守	10
10)	社会貢献・地域貢献	11
6	学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果	12

1 学校の概要

1) 学校名

北海道介護福祉学校

2) 所在地

夕張郡栗山町字湯地60番地

3) 沿革

昭和63年2月26日	第2回栗山町議会臨時会開会 第2号議案「栗山町立北海道介護福祉学校設置条例」制定 厚生省に認可を申請
昭和63年 3月31日	介護福祉士養成施設指定（厚生大臣）厚生省社第196号
昭和63年 4月 1日	開校
昭和63年 4月 2日	開校式（青少年会館）
昭和63年 4月 8日	第1回入学式挙行（中央公民館）110名（男75名・女35名）
昭和63年 7月20日	校舎の新築着工（平成元年1月17日完成） 鉄筋コンクリート造2階建 1,995㎡ 工費 3億7千2百万円
平成 元年 1月23日	新校舎へ移転
平成 元年 1月24日	専修学校認可（文部大臣）教高第1015号指令
平成 2年10月 1日	学生寮の新築着工（平成3年3月25日完成） 鉄筋コンクリート造3階建 1棟32戸723.37㎡ 工費 1億5千8百万円
平成 5年 3月30日	社会福祉主事養成施設指定（厚生大臣）
平成 9年 9月 7日	フィンランド交換留学事業開始
平成10年 4月 1日	日本レクリエーション協会レクリエーションインストラクター課程認定校
平成20年 9月 6日	創立20周年記念式典挙行
平成21年 4月	緊急人材育成支援事業（訓練・生活支援給付）受託
平成21年 4月	新カリキュラム導入により社会福祉主事養成施設指定を解除
平成21年 4月	緊急再就職訓練（資格取得コース）委託事業開始
平成22年 4月	介護雇用プログラム推進事業（介護福祉コース）受託（平成23年度まで）
平成26年 4月14日	北海道栗山高等学校との連携に関する協定書締結
平成26年 8月～	医療的ケアのための経管栄養シュミレータ、吸引シュミレータ導入
平成28年 4月	新科目として医療的ケア導入（第28期）
平成29年 6月	学生募集要項一部改正（特待生選抜・特別推薦廃止。推薦と一般の2種類に変更）
平成30年 1月28日	養成校として初めての国家試験受験（第29期生）合格率95%
平成30年 6月 1日	学校関係者評価委員会設置要綱及び教育課程編成委員会設置要綱制定

4) 学科・定員等

介護福祉学科（専門課程 全日制）

修業年限 2年 学生定員 1学年80名

※緊急再就職訓練（資格取得コース）受託

5) 学生数（平成30年5月1日現在）

学年	1年	2年	合計
介護福祉学科	36人（4人）	33人（3人）	69人（7人）

（）内 緊急再就職訓練生

6) 教職員数

校長 1名

専任教員 6名

事務職員 3名

2 栗山町教育のめざすところ

1) 栗山町教育推進の合言葉

人々が輝くふるさとづくり・・・こんな人を育てたい

ともに支えあい・希望の実現に挑み続ける人を育てます

ともに支えあい・生涯にわたって学び続ける人を育てます

ともに支えあい・ふるさと栗山を大切にすることを育てます

2) 栗山町の教育の目標・・・将来像

1 健康なからだと豊かな心を育む

2 たくましく挑み続ける実践力を育む

3 開かれた信頼される学校をつくる

4 地域みんなで子どもを育てる体制をつくる

5 ふるさと栗山のよさを活かした生涯学習を推進する

3 北海道介護福祉学校の教育目標

自然と生命を尊び、人間を大切にする視点に立ち、社会福祉従事者としての専門性の基礎を学び、人々が共に生きる社会を創造する主体的担い手となる。

1. 人間を理解する豊かな感性
2. 介護・社会福祉の知識と技術
3. 共に生きる福祉社会の創造

4 北海道介護福祉学校の育てたい人材像

- ・超高齢化社会を支え変化に対応できる人材
- ・介護ニーズの複雑化・多様化・高度化に対応できる人材
- ・介護職として地域や職場の中核的役割を担える人材

5 評価項目の達成及び取組状況

1) 教育理念・目的・人材育成像

評価項目	4 適切	3 ほぼ適切	2 や不適切	1 不適切	
1 理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4	3	2	1	学校の理念は、教育目標に定めている「人間を理解する豊かな感性」「介護・社会福祉の知識と技術」「共に生きる社会福祉の創造」は理念として相応しく、質の高い介護福祉士を輩出することが目的である
2 学校における職業教育の特色は定められているか	4	3	2	1	介護職として育てたい人物像を定めている
3 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	3	2	1	社会的ニーズとして地域ケアシステムの中心的役割を担える学生の育成をめざしている
4 理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者・関係業界等に周知されているか	4	3	2	1	学生・保護者には入学時の説明会や一日体験入学等、関係業界等は、施設訪問や来校時に周知を図っている

課題	
----	--

今後の改善方策	
---------	--

特記事項	なし
------	----

2) 学校運営

評価項目	4 適切	3 ほぼ適切	2 や不適切	1 不適切	
1 目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	3	2	1	教育目標に沿った学校運営を行っているが、明文化されていない
2 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	3	2	1	教育目標の具現化に向けた事業計画を立案しているが、運営方針が明文化されていない
3 運営組織や意思決定等は、規則等において明確化されているか	4	3	2	1	北海道介護福祉学校職務規定で定めている
4 人事、給与に関する規定等は整備されているか	4	3	2	1	栗山町の例規で定められている
5 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	3	2	1	北海道介護福祉学校職務規定で定めている
6 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	3	2	1	ホームページ、一日体験入学、地域での出前講座、町広報等を通じて情報公開をしている
7 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	3	2	1	文書管理システム、財務会計システムを導入しているが、校務支援システムは導入していない

課 題	運営方針の明文化
-----	----------

今後の改善方策	教育目標に沿った学校経営計画の作成し運営方針を明らかにしていく
---------	---------------------------------

特記事項	なし
------	----

3) 教育活動

評価項目	4 適切	3 ほぼ適切	2 や不適切	1 不適切	
1 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	3	2	1	シラバスを通し共有されている
2 教育理念・育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルの学習時間の確保は明確にされているか	4	3	2	1	養成校基準の教育課程を上回る時数が確保されている
3 教育課程は体系的に編成されているか	4	3	2	1	4 領域に沿ったものとなっている
4 キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	3	2	1	定期的に外部研修等に参加し、カリキュラムの工夫に繋げている。
5 授業評価の実施・評価体制はあるか	4	3	2	1	全科目実施している
6 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	3	2	1	実習施設指導者やあり方検討委員会での評価を得ている
7 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明らかになっているか	4	3	2	1	学則で定め、進級及び卒業認定試験を実施している
8 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中で体系的な位置づけはあるか	4	3	2	1	国家試験対策に関する支援体制を確立している
9 人材育成目標の達成に向け授業を行うことが出来る要件を備えた教員を確保しているか	4	3	2	1	福祉・介護・医療各2名の教員を配置している
10 関連分野における業界等との連携においてすぐれた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4	3	2	1	非常勤講師及び特別講義講師においても充実している
11 関連分野における先端的な知識・技術等をするための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	3	2	1	最新介護機器ロボット展示、研修会の参加等の取組を実施している

課題	時代のニーズに即応、又、国家試験学習を含み汎用性のある教育内容の工夫
----	------------------------------------

今後の改善方策	非常勤講師の講義を含め、国家試験合格に繋がる教育内容の充実を図る。教育教材の更新。
---------	---

特記事項	なし
------	----

4) 学修成果

評価項目	4 適切	3 ほぼ適切	2 や不適切	1 不適切	
1 就職率の向上が図られているか	4	3	2	1	開校以来 100%を維持している
2 資格取得率（国家試験合格率）の向上が図れているか	4	3	2	1	全体、個別に対する対応が充実している（長期休業中の試験対策講座等）
3 退学率の低減が図られているか	4	3	2	1	個々の特性に寄り添う相談体制の確立を図っている
4 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	3	2	1	就職先への訪問や、卒業生の来校等定期的に行われている
5 卒業生のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	3	2	1	卒業生の講話の実施、メッセージブックへの掲載等

課 題	学力低位の学生を含め、課題を抱えた学生への支援の更なる充実と保護者との連携
-----	---------------------------------------

今後の改善方策	全教員の横断的な支援（指導）体制作りと少人数学級体制の維持
---------	-------------------------------

特記事項	なし
------	----

5) 学生支援

評価項目	4 適切	3 ほぼ適切	2 やや不適切	1 不適切	
1 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	3	2	1	1年次より就職・進路ガイダンスを定期的実施している
2 学生相談に関する体制は整備されているか	4	3	2	1	担任制をとり、副校長のサポートの下、個別の相談に応じている
3 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	3	2	1	奨学金・修学資金の情報提供と手続きの支援を行っている
4 学生の健康管理を担う体制はあるか	4	3	2	1	医療系の教員が担っている
5 課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	3	2	1	担当教員、事務局が学生自治会活動を支援している
6 学生の生活環境への支援は行われているか	4	3	2	1	女子寮を完備している
7 保護者と適切に連携しているか	4	3	2	1	随時情報提供を行い、課題のある学生の支援に対し協力体制をとっている
8 卒業生への支援体制はあるか	4	3	2	1	転職・再就職等の情報提供、相談に応じている
9 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	3	2	1	個別面談を通し、見通しを持った指導を行っている
10 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組は行われているか。	4	3	2	1	栗山高等学校と協定を締結し、福祉コースの授業に協力している

課題	卒業後も目標を持って働くことが出来るよう、学生への情報提供の継続
----	----------------------------------

今後の改善方策	卒業時に相談体制についての周知を行う。SNS等を使い卒業生への情報提供の呼びかけを行う。
---------	--

特記事項	なし
------	----

6) 教育環境

評価項目	4 適切	3 ほぼ適切	2 や不適切	1 不適切	
1 施設・整備は、教育上の必要性を十分対応できるよう整備されているか。	4	3	2	1	開校以来更新していない備品がある
2 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	3	2	1	社会福祉現場実習、フィンランド交換留学等充実している
3 防災に対する体制は整備されているか	4	3	2	1	防災計画を策定している。 防火設備点検を適切に実施している

課題	教育器材の老朽化が進んでおり、実際の介護現場で使われている最新機器を使った実践的な教育環境に課題がある
----	---

今後の改善方策	栗山町の総合計画に沿って教育備品の整備を行っていく予定
---------	-----------------------------

特記事項	学校祭で最新の介護機器展示会を実施し、実際に体験する機会は設けている。
------	-------------------------------------

7) 学生の受入募集

評価項目	4 適切	3 ほぼ適切	2 や不適切	1 不適切	
1 学生募集活動は、適正に行われているか	4	3	2	1	入学試験要領により適正に行われている
2 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	3	2	1	メッセージブック等で卒業生の活躍を周知している
3 学納金は妥当なものとなっているか	4	3	2	1	低額な金額を設定している

課題	高校生求人数の増加、少子化による学生の減少等、介護職離れなど学生募集の課題は多い。今後も学生募集は厳しくなると予想される
----	--

今後の改善方策	高校訪問を中心に学生確保を行っているが、新卒者以外にも視野を広げ、入学者の確保に向けて取り組む
---------	---

特記事項	なし
------	----

8) 財務

評価項目	4 適切	3 ほぼ適切	2 や不適切	1 不適切	
1 中期的に学校の財政基盤は安定しているといえるか	4	3	2	1	栗山町の一般会計から支援を受けている
2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	3	2	1	栗山町の総合計画で承認されている
3 財務について会計監査が適正に行われているか	4	3	2	1	地方自治法に基づく定期監査を受けている
4 財務情報公開の体制は整備されているか	4	3	2	1	栗山町が決算を公開している

課題	栗山町の一般会計から支援を受けている
----	--------------------

今後の改善方策	抜本的な改善に向け、検討する必要がある。
---------	----------------------

特記事項	なし
------	----

9) 法令等の遵守

評価項目	4 適切	3 ほぼ適切	2 や不適切	1 不適切	
1 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	3	2	1	各種法令に従い、適正に運営されている
2 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	3	2	1	栗山町個人情報保護条例に基づく対策をとっている
3 自己評価の実施と問題点の改善を図っているか	4	3	2	1	平成30年度より自己評価を行い、問題点を把握している
4 自己評価結果を公開しているか	4	3	2	1	平成30年度に公表する

課題	自己評価の問題点等について具体的な改善は十分ではない
----	----------------------------

今後の改善方策	改善に向け取り組むとともに公開の準備を進める
---------	------------------------

特記事項	なし
------	----

10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	4 適切	3 ほぼ適切	2 や不適切	1 不適切	
1 学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	3	2	1	小学校、高校の福祉関係の授業を本校で実施している。講堂で中学生が部活動を行っている
2 学校のボランティア活動を奨励し、支援しているか	4	3	2	1	8回のボランティアを卒業認定の条件としている
3 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練を含む）の受託を積極的に実施しているか	4	3	2	1	緊急再就職訓練を受託している。特別講義を地域住民に公開している。出前講座を行っている

課題	なし
----	----

今後の改善方策	社会科・家庭科等の授業で中学校との連携を進める
---------	-------------------------

特記事項	なし
------	----

6 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

例年通り就職率は100%を維持しているが、国家試験合格率は95%と全国・養成校平均を上回っているものの合格率100%を目指し、引き続き夏休み・冬休みの対策講座、外部講師による特別講義などを実施していくことが必要である。

専門性を活かした小中高との福祉教育の連携については、小中学校の総合的な学習の時間への協力・キャリア教育への協力、高校の選択科目授業において介護体験実習など計画段階から相談・助言を行い教育のねらいに沿った授業展開に協力している。また、学生はボランティアとして福祉施設のお祭りや町のイベントを支援するなど、町の活性化も図っており、地域とのつながりを大切にしている学校運営を行っている。

今後の課題として、現在、高校訪問を中心に学生確保を行っているが、入学者数は年々減少し厳しい状況であることから、新卒者以外にも視野を広げ、入学者の確保に向けて様々な方法を検討して早急に取り組んでいく。